

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔39〕 東京都台東区立台東児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ					
(3)経営状況	(26年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,824,133,063円, 支出2,782,383,774円, 収支差額41,749,289円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区台東1-11-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の乳幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日まで：午前9時半～午後6時(土曜を除き、中高生タイムとして午後6時～午後7時)、休館日：年末年始、祝祭日(5月5日を除く) 一部開放：日曜日(第三日曜日を除く)・5月5日 午前9時半～午後6時					
(5)規模	RC5階建て 3階 事務室・遊戯室・図書室・休養室・集会室等 台東保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団及び個別の指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	31,325,000	31,823,000	33,633,000	32,009,000	34,550,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	31,325,000	31,823,000	33,633,000	32,009,000	34,550,000
決算	委託料	29,794,042	31,656,518	31,887,180	31,848,765	34,386,235
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	17,000	305,108	61,950
	管理経費	29,794,042	31,656,518	31,904,180	32,153,873	34,448,185
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
開館日数		日	335	332	333	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度
利用者数		人	14,500	15,068	13,614	14,512

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

これまでのイベントに加え、東京都の児童相談センター職員派遣による専門的なイベントを開催することで、児童館への高い満足度を維持した。また、竹町、上野、浅草橋地区の関係団体には毎月発行する「児童館だより」を手渡しすることにより、地域との繋がりを深めるきっかけを作った。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	3D万華鏡作りやバスボム作り等の専門性の高い出前講座を行う際、開催期間を長く設定し、より多くの利用者が参加できるよう工夫している。幼稚園児向けの活動を通年で実施することにより、乳幼児親子と男性保護者の土日利用が増加した。
(2)施設の維持管理	A	施設・設備の保守点検や清掃等については、業務基準に基づき実施している。安全面や衛生面に配慮し、日々の遊具点検や消毒についても、適切に行っている。
(3)利用者の満足度	A	定期的に地域の関係団体を訪問することにより、館の取組みへの理解とイベントへの参加など、協力を得ることができている。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進するほか、消耗品の一括購入や長期契約により経費の効率化を図っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	日頃から地域との繋がりを大切にし、利用者ニーズを捉えた魅力ある行事を積極的に取り入れてきたことにより、幅広年齢層の利用に繋がった。また、利用者アンケートにおいても、高い満足度を維持している。
-----------	---

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

児童館活動のPRを通じて、地域の方と児童館との関係を深めていく。中高生タイム実施館として、中高生のスポーツや工作などの需要を捉え、また、学習支援を行い、利用の定着を図る。